

令和5年5月24日

生徒・保護者の皆さんへ

兵庫県立神崎高等学校
校長 徳永 千里子

創立記念日に寄せて

5月25日は本校の創立記念日です。神崎高等学校として独立してから47回目となります。本校の開校に至る経緯を改めて振り返ってみましょう。

本校は、昭和23年11月1日、被服科1学級の定時制課程をもつ、兵庫県立福崎高等学校栗賀分校として、栗賀中学校の校舎の一部を借用して生まれました。そして、昭和40年、全日制課程に移行した後、昭和52年、「神崎郡北部に普通科高校を」という長い間の地元の要望が実り、普通科2学級をもつ兵庫県立神崎高等学校として独立しました。

神崎高校としての半世紀近くの歴史の中では、生徒指導の問題を多数かかえ授業の成立が困難な時期もありました。しかし、そのような中、強力なリーダーシップを発揮された校長先生方をはじめ歴代の教職員が一丸となって、ディスカバリー（自分発見、地域発見、夢発見）プロジェクトを推進することで、今日のように「地域に愛される学校」となりました。加えて、現在では、地域の運動会、夏祭りや小学校、中学校をはじめ町内の多くの民間団体等との交流の場での生徒会等の積極的な地域貢献活動が高く評価され、年を追うごとに地域と本校との絆が太くなっています。

本校の教育理念は、校訓「自主・創造・勤勉」を具現化し、社会に貢献できる心豊かで自立した人間を育成することです。これまでこの教育理念のもと、多くの有意な人材を輩出してきました。現在、普通科各学年2クラスで、全校生徒200名（男子92名、女子108名）が学んでいます。

本校卒業生は、約6,600名を数え、同窓生のみなさんは、級友や先輩、後輩、そして先生方とともに高校生活の苦楽を経験する中で、社会性や協調性、思いやりの心を大切にしっかりと身につけてきました。

5月25日は本校の誕生日ともいうべき大切な日です。生徒の皆さんには、47年の歴史を刻んできたその伝統に思いを寄せ、神崎高校の生徒であることの自覚と誇りを持ち、高校生活に取り組んでほしいと思います。